

1. 地域概要

計画名	台東区浅草地区における持続可能な観光地づくり事業
対象エリア	浅草エリア
実施主体	東京都台東区
年間観光客入込数	3,862万人（R5年、台東区全体）
年間延べ宿泊者数	487 万人（R5年、台東区全体）
主な観光資源	浅草寺をはじめとした江戸時代から築いてきた浅草地域の歴史と文化



浅草寺



雷門

● 観光ビジョン

江戸時代から継承される美学「粋」で「いなせ」で「乙」な
情緒的価値を体験できる、世界が憧れる観光地へ

● 推進体制（協議の場）

浅草地区における持続可能な観光地づくり協議会

- 浅草地域における現状分析及び課題の抽出、解決に向けた対策における事業実施のための協議を実施
- 協議会においては、各団体/組織から複数名参加してもらい、協議の活発化を図る
- 事業の進捗報告や振り返り会を行い、翌年度に向けた方向性への材料とする

行政機関

台東区

事業者

一般社団法人
浅草観光連盟

協同組合
浅草商店連合会

住民関係者

雷門地区町会
連合会

浅草小学校
PTA

2. 課題

● 主な課題

	主な現状・問題点	影響を受けている主な対象
1. ポイ捨て等の迷惑行為	- 観光客のごみやたばこのポイ捨てによるマナー違反が更に深刻化することで、景観や住民感情の悪化に繋がる恐れがある - 浅草の街の美観が損なわれ、観光地としての魅力が軽減する懸念がある	住民
2. 喫煙場所などのわかりにくさによるマナーの低下	- トイレや喫煙場所のわかりにくさは観光客満足度の低下だけでなく、禁止されている場所での喫煙や吸い殻のポイ捨てなどの問題にもつながる懸念がある - 場所を尋ねられる店舗側の負担にもつながっている	住民・観光客・事業者
3. 店舗等の過度な混雑	- 店舗の行列は、快適な観光の阻害に繋がり、観光満足度の低下を招く恐れがある - また、リピート観光への期待も損なわれる可能性がある - 行列による街路混雑は、住民の生活利便性や安全性へ影響を及ぼす懸念がある	住民・観光客

1. ポイ捨て



- 浅草エリアは、買い物や飲食できる店舗が多く、ポイ捨てにつながる懸念

2. 場所のわかりにくさ



- トイレ・喫煙場所がどこにあるかわかりにくく、禁止されている場所で喫煙してしまうなどの問題につながる懸念

3. 店舗混雑



- 店舗の多い浅草は、買い物やグルメ目的の観光客が多く集まり、人気店舗は常に行列ができています

3. 背景・要因

● 課題の背景・要因

主な背景・要因

1. 観光と住民の生活圏の重複

2. 規模が大きく、人や情報が溢れやすい都市型観光地

- 観光地と住民の生活圏が重複しているため、ごみやたばこのポイ捨て、行列による道の混雑などについて、住民からの不満が出やすい
- 規模の大きい都市型観光地であるため、常に大量の観光客が流入。一部のエリアについては、観光客の満足度低下が懸念される状況
- 様々な観光情報が発信され、混在しているため、喫煙場所やトイレなどの台東区が伝えたい情報が観光客に届きにくい

1. 観光と住民生活圏の重複



- 観光客が集まる場所に住宅があるなど、生活と観光客の動線が重複



2. 観光客や情報量が溢れている



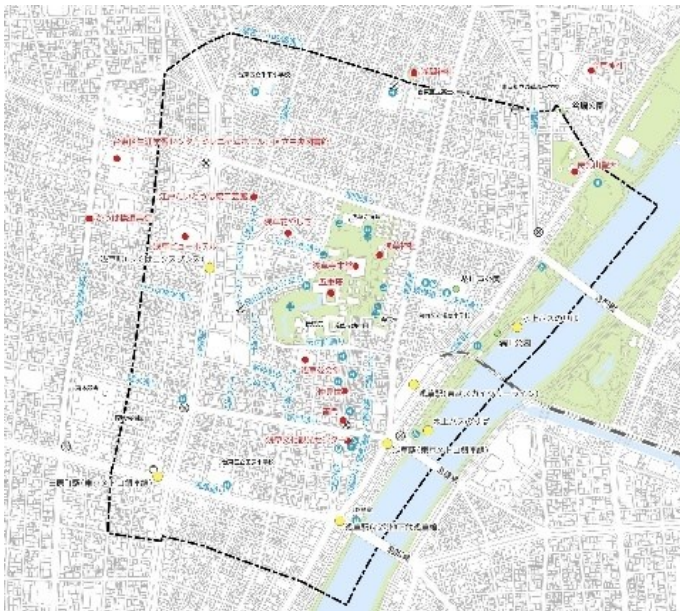
- | | |
|----------|-------|
| 観光案内所 | 観光案内板 |
| 身障者対応トイレ | トイレ |
| 駐車場 | 喫煙所 |
| 警察署・交番 | 両替所 |
| 病院 | 学校 |
| 消防署 | 郵便局 |
| | 寺院 |
| | 神社 |

- 都内中心部の観光地であり、国内外から多くの観光客が来訪
- 流入のコントロールは難しいため、大勢の観光客を受け入れつつ、住民生活との共存を図っていくことが必要

4. 対策の概要

- 協議会での協議の結果、主な課題として以下を抽出
- 居住地と観光地が重複しており、住民へのインパクトの強いエリアであることから、住民の不满につながりやすい、ごみやマナー対策などを中心に事業を実施する
 - ①ごみのポイ捨て
 - ②喫煙マナー、喫煙所についての周知不足
 - ③トイレ場所の周知不足

エリアマップ



調査・分析

取組み 内容

①浅草地区ごみ目視・組成調査

- ポイ捨て問題は、ごみを拾うなどの施策だけでなく、ごみの発生源に対する根本的な対策も必要である
- ごみ組成調査により、排出場所及び製造者を特定することで、製造者も巻き込んだより効果的なポイ捨て削減を検討する

マナー啓発

取組み 内容

②ごみのポイ捨て禁止啓発活動（移動式ごみ箱活用実験）及びイベント開催

- ごみ捨てのルールについて理解していない、意識していない観光客が多い可能性
- 啓発活動や観光客や子どもが参加するごみ拾いイベントの実施により、ポイ捨てへの意識向上を図る

取組み

内容

③共通デザイン・ロゴの作成、全体的なデザインを採用したマナー啓発リーフレット及び持ち帰り用ごみ袋の作成・配布

- マナー啓発について個別事業を実施するのみでは、大勢の観光客に訴求できない
- 共通デザイン・ロゴを用いたPRやごみ袋の配布などにより、台東区のマナー啓発についてより強力に発信し、観光客の意識向上を図る

受入環境の整備・増強

取組み 内容

④デジタル便利マップ及び二次元コードスタンド等配布

- トイレ・公衆喫煙所等の場所がわかりにくく、店舗側の負担につながりやすい
- 情報をまとめたデジタルマップを作成し、観光客へわかりやすい周知を行う

住民と協業した観光振興

取組み

内容

⑤協議会開催

- 各種課題の未然防止を目的とした、住民や地域の団体等と意見交換や協議を行う機会の充実

5. 主な取組み（詳細）

課題

ごみのポイ捨て問題について、捨てられているごみの種類や発生源が不明なため、根本的な対策を実施できていない

取組み

浅草地区ごみ目視・組成調査

- ・ 実施期間：令和6年10月～令和7年2月
- ・ 実施主体：台東区

事業内容

■ 浅草地区ごみ目視・組成調査

1. 目視調査

- ・ 令和6年11月1日（金）、11月5日（火）に目視調査を実施
- ・ 目視にて、ごみの種類や量を把握し、分類項目を決定、ポイ捨ての傾向を把握

2. 組成調査

- ・ 11月30日実施
- ・ 目視調査の結果を元に、ごみの多い以下の地点を選定し、投棄量、種類等を調査

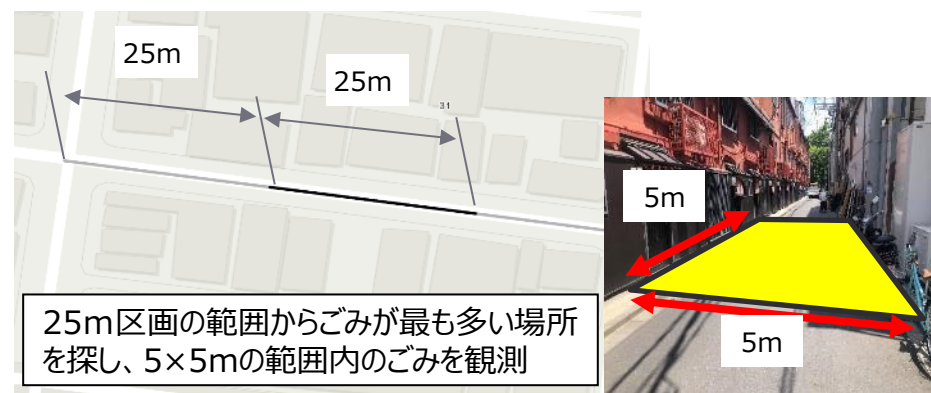
【背景・目的】

- ・ ごみのポイ捨て問題は、どのようなごみが捨てられており、どこが発生元であるかなど、発生の根源が明らかになっていないため、一歩踏み込んだ対策を検討していく
- ・ 浅草地区の道路等に投棄されたごみの状況を調べ、排出量や排出場所、排出に関係する事業者等を明瞭化し、より効果的な対策の基礎資料を得て、投棄ごみの削減を図る

調査範囲



調査方法



成果及び今後に向けて

令和6年度事業の目標

- ごみの調査を通じ、ポイ捨てが多い場所や製造元の情報の明瞭化及びデータ整理を実施し、分析結果を基にした今後の取組案の検討を行う。

事業の成果／目標の検証結果

- 浅草エリアでポイ捨てされているごみについて、
 - コンビニ前・駐車場といった場所毎の特性
 - 特に多い地点の把握
 といった基礎的な実態を可視化できた。
- 基礎情報に基づき、関係者で今後の取組案を協議する

成果詳細

1. 目視調査の結果

- 目視調査を踏まえ、調査地点の特定、ごみの分類を設定した上で、ごみの組成調査を実施

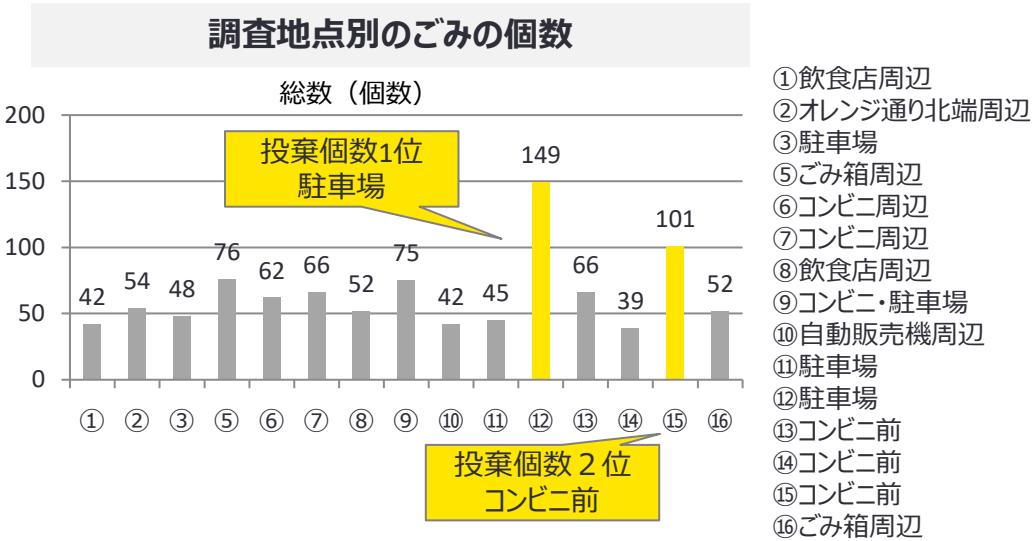
ごみの分類

大分類	中分類	細分類	詳細分類	グラフの区分	項目
焼却不適物	プラスチック類	ペットボトル		ボトル	飲料用ペットボトル、ボトルのキャップ、その他のボトルなど
焼却不適物	プラスチック類	その他のプラスチック製容器包装	パック類、カップ類、包装フィルム・ラップ・袋	プラスチック製品	プラスチック製コップ・カップ、プラスチック製容器、パッケージ、容器包装など
焼却不適物	プラスチック類	その他のプラスチック製容器包装	発泡スチロール・発泡トレイ	その他のプラスチック	ストロー、レジ袋、発泡スチロール製品など
不燃物				金属製品（缶、瓶）	アルミ缶、スチール缶、飲料用瓶、瓶のフタなど
可燃物		紙製品類（木含む）		紙製品	紙製コップ・カップ、飲料用パック、紙製包装材、チラシ、割り箸、マスクなど
たばこ				たばこ	たばこの吸殻、たばこのパッケージなど
焼却不適物 不燃物	ゴム・皮革 その他の不燃物			その他	ゴム製品、保冷剤など

成果詳細

2. 組成調査

- 15か所の調査地点について、ポイ捨ての個数、ごみの内容を調査し、ポイ捨て行動の特徴を分析



調査場所のポイ捨ての特徴		
場所	他調査場所より割合の大きいごみ	推測されるポイ捨て行動
コンビニ前	プラスチック製品	コンビニで買った商品をその場で投棄
駐車場	たばこ	車で待機中または夜間に人が集まり、たばこを投棄
道路	紙製品	歩行者が食べた後の容器や包装紙の投棄
その他	ボトルや金属製品	自動販売機やごみ箱の裏に、ボトル、缶、瓶などを投棄

3. 調査結果の見える化・対策の検討

- 今後のごみポイ捨て施策検討の基礎データとして調査結果を整理
- ポイ捨ての場所や種類、傾向等のデータを踏まえ、関係者で具体的な対策を検討する

対策素案の検討	場所	推測されるポイ捨て行動	対策の方向性（案）
	コンビニ周辺	コンビニで買った商品をその場で投棄	ポイ捨ての多かったコンビニ事業者との連携 外国人観光客にも分別方法などがわかりやすいよう、ごみ箱には多言語対応またはピクトグラムを表示
	駐車場周辺	車で待機中または夜間に人が集まってたばこを投棄	駐車場事業者と連携し、ポイ捨て禁止のポスター掲示による啓発活動や、駐車場の清掃活動の頻度の増加検討を依頼
	道路脇	歩行者が食べた後の容器や包装紙を投棄	外国人観光客は、家庭・事業ごみ置き場を観光客も捨てていいと勘違いしやすいため、多言語対応ポスターやピクトグラムなどでポイ捨て禁止を啓発 事業者によるごみ回収の徹底、ネット活用による散乱防止

令和6年度の取組みから見てきた課題

- これまで可視化されていなかった浅草エリアのごみポイ捨ての実態が明らかとなった

1

対策検討に向けた関係者の巻き込み

- 各地点のごみの量、ごみの種類、ポイ捨てが多い場所やポイ捨ての多い商品など、**今まで見えなかったポイ捨ての実態を可視化**
- ポイ捨ての傾向、ポイ捨ての多いごみやその販売事業者など、**ポイ捨てに関係のある具体的な関係者を明らかにすることができた**
- 詳細の情報を把握することができたが、**民間事業者等**にどのようにアプローチし、どのような方法でポイ捨て対策に協力いただくかが、今後の課題

令和7年度以降に取り組むべきと考えること

- 可視化したデータを基に、まずは関係者で協議を実施
- 民間事業者には、ポイ捨て対策への参画メリットを訴求しつつ、連携策を検討する

1

可視化したデータを踏まえた協議の実施

- 具体的なデータをもって関係者で協議することで、より実態に沿った対策の検討が期待できる

2

ポイ捨て対策への参画メリットの訴求

- 民間事業者等の巻き込みにあたっては、企業イメージの向上など、民間事業者等がポイ捨て対策へ参画するメリットを感じられるようにすることがポイントとなる

5. 主な取組み（詳細）

課題

ごみのポイ捨て問題に対する観光客の関心や意識が低い

取組み

ごみ拾いイベント及びポイ捨て禁止啓発等活動

- ・ 実施期間：令和6年12月～令和7年1月
- ・ 実施主体：台東区

事業内容

■ ごみ拾いイベントの開催

- ・ 浅草らしいキャラクターなどを活用し、観光客や子ども等を巻き込んだ、ごみ拾いイベントを開催
イベント開催日時：12月14日（土）（ファミリー向け）
1月18日（土）（大人向け）
- ・ ごみ拾いイベントは、拾うごみにポイントが付与し、各チームで競うゲーム形式。アプリで配信されるミッションをクリアしながら、ごみ拾いを楽しく体験することができる

【目的】

- ・ 訪日外国人観光客を含む、浅草を訪れる人々のごみのポイ捨てに関する意識を向上させることで、ポイ捨ての減少、街の美化、来訪者満足度及び住民快適性の向上を図る

ごみ拾いイベントの実施



	ペットボトル1本	▶	300 Gommy
	ビン・カン1本	▶	200 Gommy
	タバコ1本(1g)	▶	10 Gommy
	その他のゴミ1g	▶	1 Gommy

拾ったごみにはポイントが付与され、
ゲーム感覚で楽しくごみ拾いができる

ポイ捨て禁止啓発活動の実施



浅草らしいコスチュームで啓発とごみ拾いを実施

成果及び今後に向けて

令和6年度事業の目標

- 浅草を楽しみながらのごみ拾いイベントや啓発活動について、観光客に満足いただける内容であるか検証し、今後の取組の継続を検討する

事業の成果／目標の検証結果

- イベントの満足度は**約9割**となり、今後の継続見通しが立った
- メディアにも好意的に取り上げられ、多くのPR機会が得られた
 - イベントの満足度：**約9割**
 - 環境への関心が高まった：**8割以上**
 - イベント参加者：**162名**
 - 巡回回数：**124回**

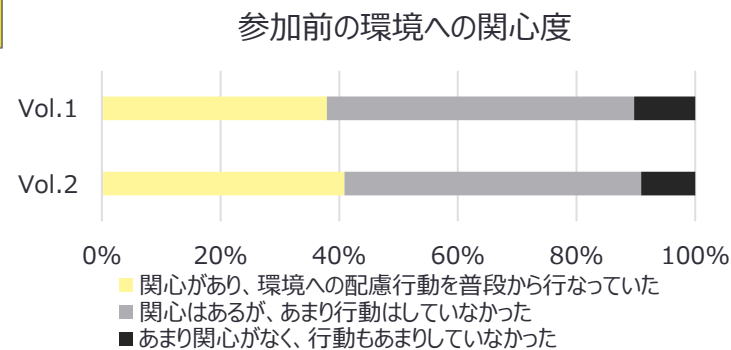
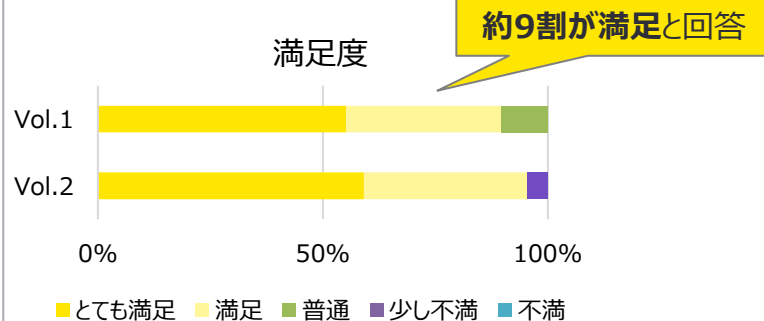
成果詳細

■ ごみ拾いイベントの開催

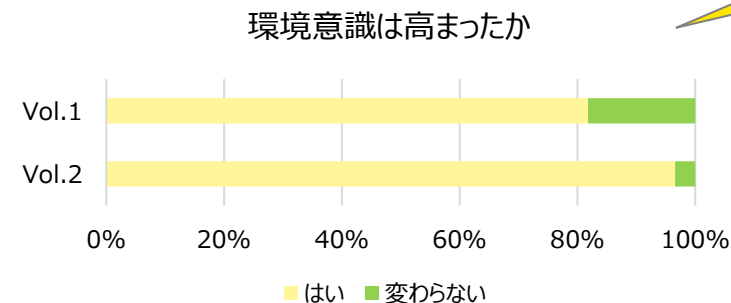
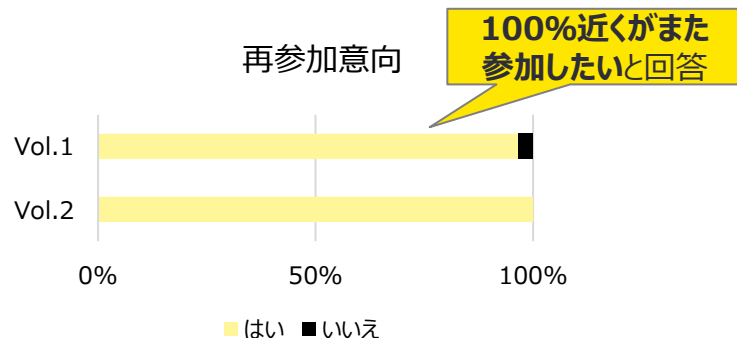
- 約9割がイベントに満足と回答し、8割以上が環境への意識が高まったと回答
- 100%近くがまた参加したいと回答し、継続開催の見通しが立った

拾ったごみの総量

ペットボトル：247本 タバコ：4.8 kg
ビン・カン：349本 その他：30.28 kg



イベント参加前は、約4割が環境への関心がない、約9割が環境配慮行動を普段から行っていなかったが、イベント後は8割以上が環境への関心が高まったと回答



成果詳細

■ 啓発活動の実施

- ・ コスチュームが観光客の関心を引き、特に外国人観光客と小学生以下の子どもからの声掛けやコミュニケーションが多かった
- ・ 訪日外国人観光客が進んで清掃活動に協力する場面もあった



ごみ袋・リーフレット入れ



回収したごみ

項目	タバコ(本)	紙(枚)	缶(本)	ペットボトル(本)	ビン(本)
合計	19123	9443	3926	2743	106
一日平均	308	152	63	44	1.7



ユニークな取組で、外国人観光客とのコミュニケーションを創出

令和6年度取組みから見てきた課題

■ イベントの開催時期の設定

- ・ 繁忙期ではないこともあり、ごみが比較的少なく、参加者からは浅草の街は意外にも綺麗だったとの声が聞かれた
- ・ 冬の開催は体調不良によるキャンセルなどのリスクが高い

令和7年度以降に取り組むべきと考えること

■ 観光客が多い時期と連携した開催

- ・ ごみが比較的多い時期、気候の安定している時期での開催
- ・ ごみ拾いイベント後に浅草の街を楽しんでもらうなど、ナイトタイムエコノミーとの連携も検討